

博報堂教育財団 こども研究所が小4～中3に聞いた「おとな」に関する意識調査の結果を発表

早く「おとな」になりたい小中学生*は54.9%。**

「おとな」になったらやってみたいことは「自由にスマホを使う」59.8%が最多。

*：小中学生＝小4～中3生(以下同様)

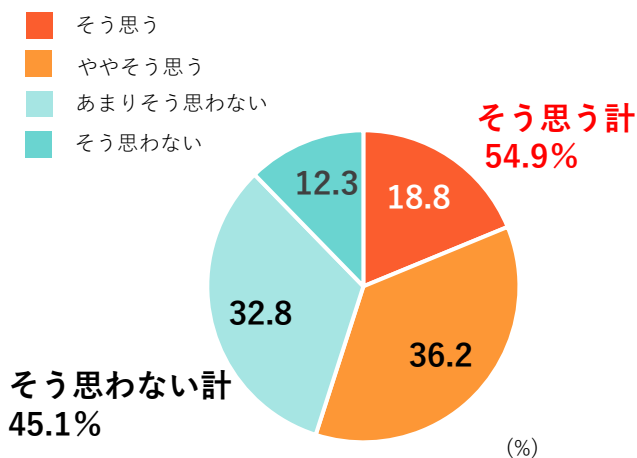
**：そう思う+ややそう思う計(以下同様)

公益財団法人 博報堂教育財団の調査研究機関 こども研究所では、全国の小学4年生～中学3年生を対象に、子どもをとりまくさまざまなトピックスについて調査を実施しています。

今回は、「成人の日」を前に子どもたちが持つ「おとな」のイメージや、将来になりたい「おとな」像について聞きました。早く「おとな」になりたい小中学生*は54.9%**。「おとな」になったらやってみたいことは「自由にスマホを使う」が59.8%と最多。なりたい「おとな」像は「お金をたくさんかせいでいる(57.2%)」が最も高く、まわりの「おとな」に対するイメージは「いそがしそう」が81.3%。また、「尊敬するおとながいるか」という質問では、71.3%が「いる」と回答しました。その存在の多くは「お母さん」「お父さん」をはじめとする“家族”、次いで「先生」。子どもの目に映った家族や先生など身近な「おとな」は頼もしい存在であり、日ごろ自分のサポートをしてくれる姿に感謝をしている声が聞こえてきました。

Q.あなたは、早く「おとな」になりたい、と思いますか。

全体(1200人)



Q.「おとな」になったらやってみたいことはありますか。

(上位10項目)

全体(1200人)



※小数第2位を四捨五入しているため、合計値は100%にならない場合があります。

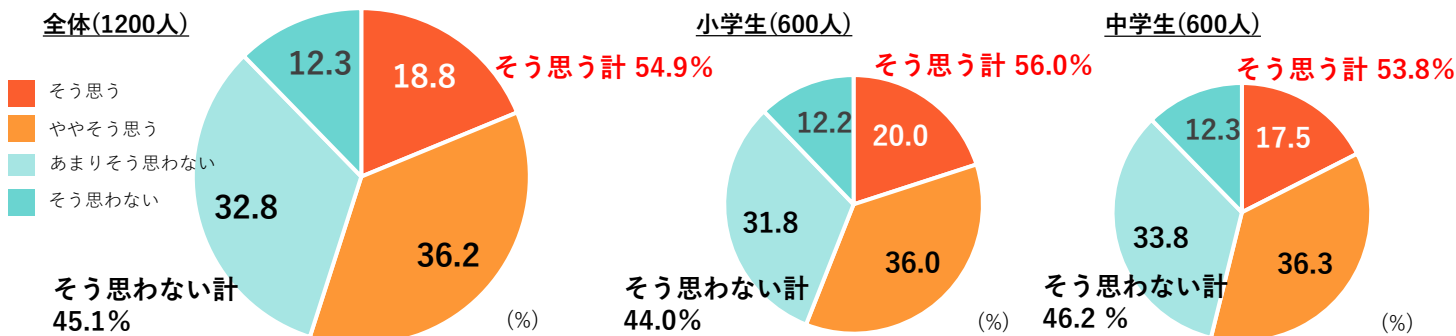
■「おとな」に関する意識調査 結果のポイント

1. 早く「おとな」になりたい小中学生*は54.9%**。
2. 「おとな」になったらやってみたいことは「自由にスマホを使う」が59.8%で最も高い。
3. なりたい「おとな」像は「お金をたくさんかせいでいる」が57.2%で最多。
4. 「尊敬するおとながいる」のは71.3%。上位に挙がったのは「両親」と「先生」。
5. 身のまわりの「おとな」に感じるのは「いそがしそう」が81.3%。
6. 成人年齢が18才と認知しているのは57.2%。「成人になったらできるようになること」で最も認知率が高かったのは「選挙で投票すること(66.9%)」。

1. 早く「おとな」になりたい小中学生*は54.9%**。

- ・ 早く「おとな」になりたいかという質問では、「そう思う」計が54.9%、「そう思わない」計が45.1%でした。
- ・ 早く「おとな」になりたい理由を自由回答で聞くと「自由」と「お金」に関する回答が多く見られました。「お金をかせぎたい」「好きなだけ欲しいものを買いたい」「一人暮らしをしたい」といった声が多数でした。また「勉強・宿題をしなくていい」の声もあるものの、「やりたい仕事がある」「社会で活躍したい」といった将来への目標も挙がりました。
- ・ 一方、早く「おとな」になりたいと思わない理由は、「大変そう」「いつも疲れているようだから」のほか、「今は楽しいから」と現状に満足している様子や「まだまだ甘えたい」などの回答も見られました。

Q. あなたは、早く「おとな」になりたい、と思いますか。(ひとつだけ)



早く「おとな」になりたいと思う理由 (そう思う計)

●自由に〇〇したい

- ・ ゲームやスマホなど自由に何時間でもできるし、欲しいものも買える。(小6男子)
- ・ 自分の力だけでできることが増えて自由だと思うから。(中1男子)
- ・ 好きなアーティストのライブに自由に行ける。(中2男子)

●お金をかせぎたい・使いたい

- ・ 欲しい物がいっぱいあるので早くお金を稼ぎたい。(中1男子)
- ・ 自分でお金を稼いで一人暮らしをしたいから。(小6女子)
- ・ 働いて自分が自由に使えるお金が欲しいから。(中1女子)

●将来の夢を叶えたい

- ・ 将来は外国に住みたいので、早く働いてお金をためたいから。(小5男子)
- ・ 大学で勉強などを頑張るって、早く科学者になれるようになりたいから。(小5女子)
- ・ 早く世の中のために働きたいので。(中3女子)

●両親をサポートしたい

- ・ サッカーで稼いで親を楽しませたい。(小4男子)
- ・ 母親を助けたい。(小6男子)
- ・ 仕事をして趣味にお金を使いたいし家族を助けてあげたい。(中1男子)

早く「おとな」になりたいと思わない理由 (そう思わない計)

●大変そう

- ・ やることがたくさんあって大変そうだから。(中1男子)
- ・ 周りの大人を見てみると、自分が仕事をちゃんとできるか不安になる。(小6女子)
- ・ 義務が生じ、幾分か生きづらくなりそうだから。(中3男子)

●疲れている姿をみて

- ・ お仕事ばかりで忙しそうだしいつも疲れている感じがするから。(小6女子)
- ・ 親が仕事の愚痴をよく言うから。(中2女子)

●今は楽しい

- ・ 学校が終わって宿題が終われば自由だから。(小4女子)
- ・ 今が楽しいし、色々自分のために必死になれるし時間があるから。(小4女子)

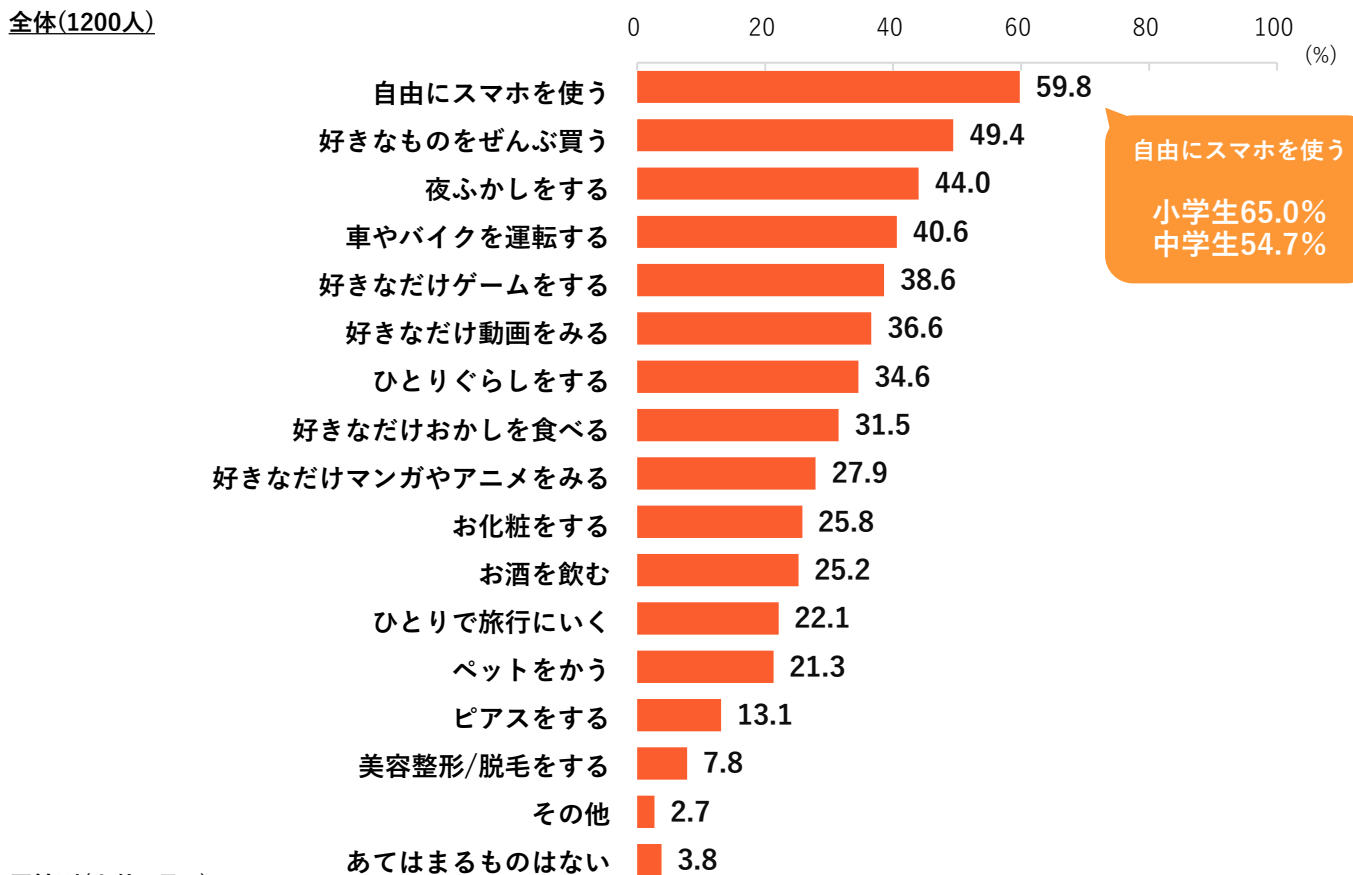
●まだまだ子どもでいたい

- ・ まだまだ甘えていたいから。(中2男子)
- ・ まだまだ子供時代を存分に楽しみたい。(中3男子)

2. 「おとな」になったらやってみたいことは「自由にスマホを使う」が59.8%で最も高い。

- 「おとな」になったらやってみたいことは「自由にスマホを使う(59.8%)」が最も高く、2番目に高かった「好きなものをぜんぶ買う(49.4%)」と比較し10pt以上の差がでました。
- 最も多かった「自由にスマホを使う」を属性別でみると、中学生が54.7%に対し、小学生では65.0%。小学生は中学生より10pt程度高くなりました。
- 全体と比較し小学生男子では「好きなだけゲームをする」が56.3%(+17.8pt)、小学生女子と中学生女子では「お化粧をする」がそれぞれ53.0%(+27.3pt)、47.3%(+21.6pt)とおしゃれへのあこがれが垣間見えました。中学生男子では「車やバイクを運転する」51.3%(+10.8pt)で全体との差がみられました。

Q.「おとな」になったらやってみたいことはありますか。(いくつでも)



属性別(上位5項目)

*赤枠は全体差10pt以上

() 内は全体との差分

小学生男子 (300人)

1位	自由にスマホを使う	61.7
2位	好きなだけゲームをする	56.3 (+17.8pt)
3位	好きなものをぜんぶ買う	52.3
4位	車やバイクを運転する	49.0
5位	夜ふかしをする	48.3 (%)

中学生男子 (300人)

1位	自由にスマホを使う	55.7
2位	車やバイクを運転する	51.3 (+10.8pt)
3位	好きなものをぜんぶ買う	46.3
3位	好きなだけゲームをする	46.3
5位	ひとりぐらしをする	39.7 (%)

小学生女子 (300人)

1位	自由にスマホを使う	68.3
2位	お化粧をする	53.0 (+27.3pt)
3位	好きなものをぜんぶ買う	51.7
4位	夜ふかしをする	49.7
5位	好きなだけ動画をみる	40.7 (%)

中学生女子 (300人)

1位	自由にスマホを使う	55.7
2位	好きなものをぜんぶ買う	47.3
3位	お化粧をする	47.3 (+21.6pt)
4位	ひとりぐらしをする	39.3
5位	夜ふかしをする	39.0 (%)

3. なりたい「おとな」像は「お金をたくさんかせいでいる」が57.2%で最多。

- どのような「おとな」になりたいかでは、「お金をたくさんかせいでいる(57.2%)」が最多でした。次いで「家族を大事にする(49.7%)」「趣味を楽しんでいる(48.2%)」と続きます。
- 属性別でみると、全体と比較し小学生女子では「家族を大事にする」が58.7%(+9.0pt)、中学生女子では「おしゃれな」が46.0%(+14.3pt)と全体に比べて高くなりました。
- 「おとな」と聞いて何を思いうかべるか、と自由回答で聞いた質問では(回答者939人)、「働いている」「会社に行く」といった仕事に関することが220件ほど。また「お金をかせいでいる」「お金をもっている」という「お金」に関することが80件ほどと、「仕事」と「お金」をあわせ、約300件となりました。約3分の1の子どもにとって「おとな」とは「仕事をし、お金をかせぐ人」というイメージがあるようです。

Q.あなたはどのような「おとな」になりたいですか。(いくつでも)



属性別(上位5項目)

*赤枠は全体差10pt以上

() 内は全体との差分

小学生男子 (300人)		
1位	お金をたくさんかせいでいる	59.3
2位	家族を大事にする	47.7
3位	趣味を楽しんでいる	42.3
4位	困っている人をたすける	36.3
5位	ルールやマナーを守る	34.0(%)

中学生男子 (300人)		
1位	お金をたくさんかせいでいる	61.3
2位	趣味を楽しんでいる	49.7
3位	家族を大事にする	42.3
4位	仕事を楽しんでいる	33.7
5位	ルールやマナーを守る	32.3(%)

小学生女子 (300人)		
1位	家族を大事にする	58.7
2位	お金をたくさんかせいでいる	50.7
3位	趣味を楽しんでいる	49.0
3位	おしゃれな	49.0
5位	友だちがたくさんいる	40.7(%)

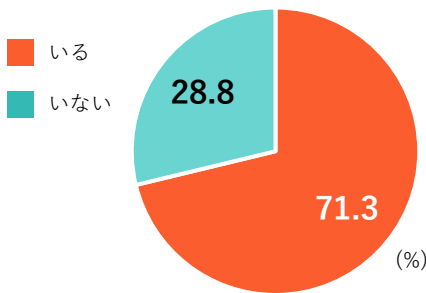
中学生女子 (300人)		
1位	お金をたくさんかせいでいる	57.3
2位	趣味を楽しんでいる	51.7
3位	家族を大事にする	50.3
4位	おしゃれな	46.0(+14.3pt)
5位	困っている人をたすける	35.3(%)

4. 「尊敬するおとながいる」のは71.3%。上位に挙がったのは「両親」と「先生」。

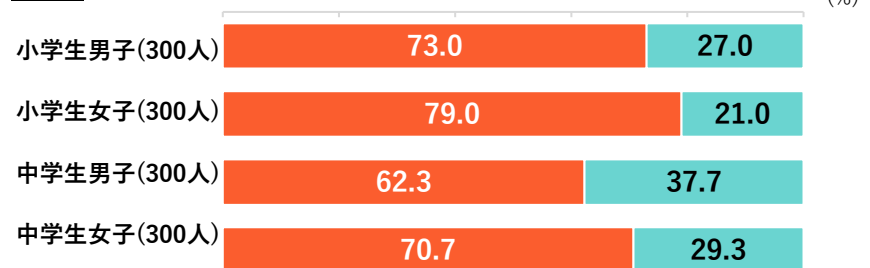
- 尊敬する「おとな」の存在の有無を聞くと、71.3%が「いる」と回答。属性別では、小学生女子が79.0%と最も高く、中学生男子は4属性の中では最も低いものの、62.3%にのびりました。
- 具体的に誰を尊敬しているかについて聞いたところ、自由回答では「お母さん」を筆頭に「お父さん」「両親」など家族の存在が最も多くあがりました。理由は仕事や家事などで忙しいのに自分をサポートしてくれる点、勉強などを教えてくれたり何でも知っている点など。また学校や習い事の先生などは、生徒の心に寄り添ってくれる先生の人間性などが尊敬する理由でした。その他、大谷翔平選手などのスポーツ選手やYouTuberなどの声もありました。

Q.あなたには尊敬する「おとな」はいますか。(ひとつだけ)

全体(1200人)



属性別



Q.尊敬する「おとな」はだれですか。どんなところを尊敬していますか。(自由回答)

全体(855人)

●お母さん (239件)

- お家のこととか仕事とか全部やって、休みの日はばくと遊んでくれるから。(小4男子)
- 仕事や料理を頑張っていて、勉強を見てくれるから。(小6男子)
- お父さんが2歳で亡くなってからお兄ちゃん2人と僕を、ずっと育ててくれるから。(中3男子)
- 元気で体力があって風邪をひかないしなんでもたくさん食べれるから。(中1女子)
- 疲れていても、いつも私達の事を1番に考えてくれる。(中1女子)
- 色々な家事を一人でほぼこなして、自分勝手に動かずみんなの意見を取り入れてくれる所。(中2女子)

●お父さん (140件)

- どんな壊れた物でも修理して直してくれる。(小4男子)
- どんな時でも、怒らずに話を最後まで聞いてくれるところに尊敬する。(小5男子)
- 44歳で英検の勉強を毎日頑張っている。(小6女子)
- いつも仕事を頑張っているのに休みの日までいろいろゆったり一緒に遊んでくれるところ。(中2男子)
- 毎日遅くまで仕事を頑張ってくれている。(中3男子)

●両親 (175件)

- 疲れたとか言ってもどこかに連れて言ってくれたり遊んでくれたりご飯を作ってくれたりいろいろしてくれるから。(小5男子)
- 父はよく話を聞いてくれる。母はいろんなことが何でもできる。(中2女子)
- いつも味方でいてくれて、善し悪しを教えてくれる。(中2男子)
- チームワークがよくてお互いに信頼しあっているところ。(中3男子)

●先生 (105件)

- 【担任の先生】指導力。(中2男子)
- 【担任の先生】いじめを解決しようとする所。(中1女子)
- 【担任の先生】考え方や生き方が尊敬できるから。(中2女子)
- 【顧問の先生】みんなを束ねて指導してくれるので。(中3女子)
- 【音楽の先生】人生を楽しんでいる、楽しくさせてくれる。(中2女子)
- 【美術の先生】何でも相談に乗ってくれる。(中3女子)
- 【習い事の先生】ピアノが上手なところとどんな曲もアレンジして弾けるところ。(小6女子)
- 【塾の先生】勉強教えるのが上手。(小5女子)

●スポーツ選手、歴史上の偉人、推し、YouTuberなど

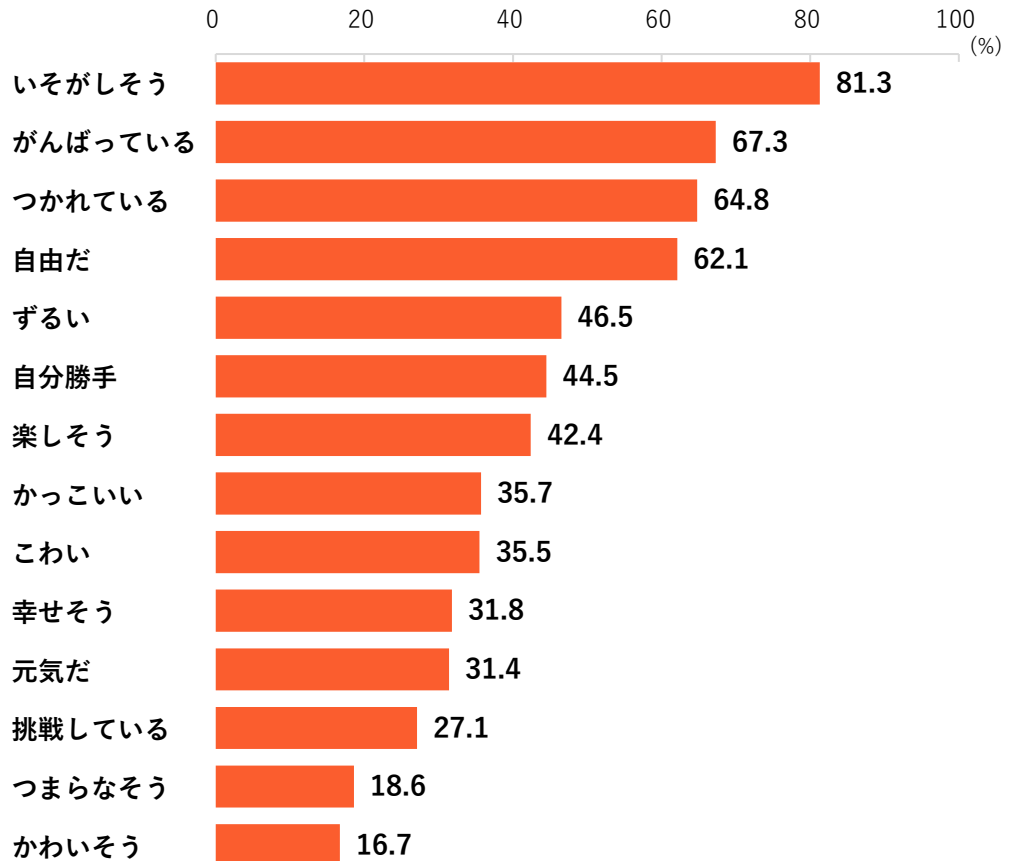
- 【大谷翔平選手】努力し続け自分の夢を叶えて、たくさんの人に夢を与えている存在だから。(小6女子)
- 【上杉鷹山】藩の財政再建の為将来への為に節約や産業を興して私利私欲をせずしっかりとした経済活動をしたから。(中3女子)
- 【推し】推しはいつもキラキラしているから。(中1女子)
- 【HIKAKIN】面白い動画をたくさん作っている。(小5女子)

5.身のまわりの「おとな」に感じるのは「いそがしそう」が81.3%。

- 身のまわりの「おとな」に感じるのは「いそがしそう(81.3%)」「がんばっている(67.3%)」「つかれている(64.3%)」。「おとな」が多忙で疲弊している様子を感じ取っているようです。
- 小中別でみると、小学生は「おとな」に対し「楽しそう」が48.8%、「カッコいい」が44.0%ですが、中学生では「楽しそう」が36.0%(-12.8pt)、「カッコいい」が27.3%(-16.7pt)と比較的ポジティブなイメージが大きく下がりました。

Q.身のまわりの「おとな」を見てあなたが感じることはなんですか。
(「そう思う」の値で降順)

全体(1200人)



「おとな」は…

小中別(上位10項目)

小学生 (600人)

1位	いそがしそう	83.0
2位	がんばっている	71.3
3位	つかれている	65.5
4位	自由だ	63.8
5位	楽しそう	48.8
6位	ずるい	48.8
7位	自分勝手	44.8
8位	カッコいい	44.0
9位	幸せそう	38.2
10位	元気だ	37.7(%)

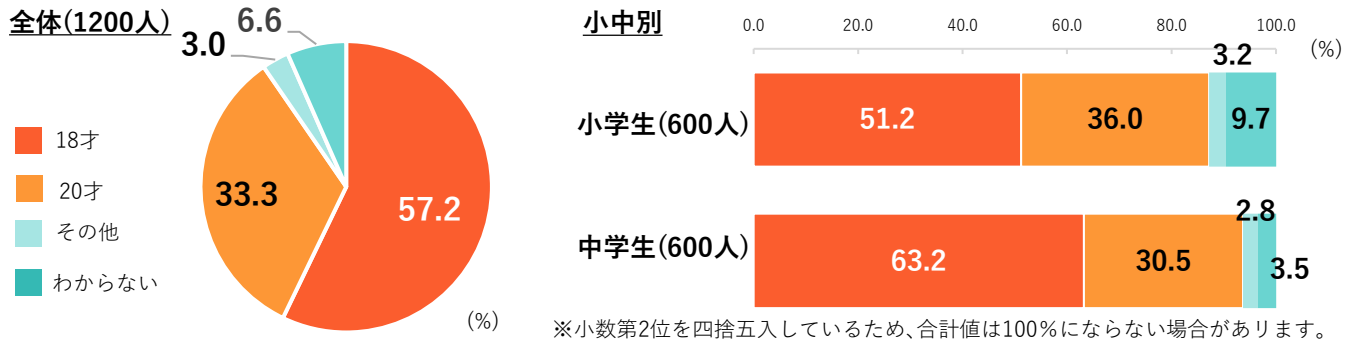
中学生 (600人)

1位	いそがしそう	79.7
2位	つかれている	64.0
3位	がんばっている	63.3
4位	自由だ	60.3
5位	自分勝手	44.2
6位	ずるい	44.2
7位	楽しそう	36.0
8位	こわい	35.7
9位	カッコいい	27.3
10位	幸せそう	25.5(%)

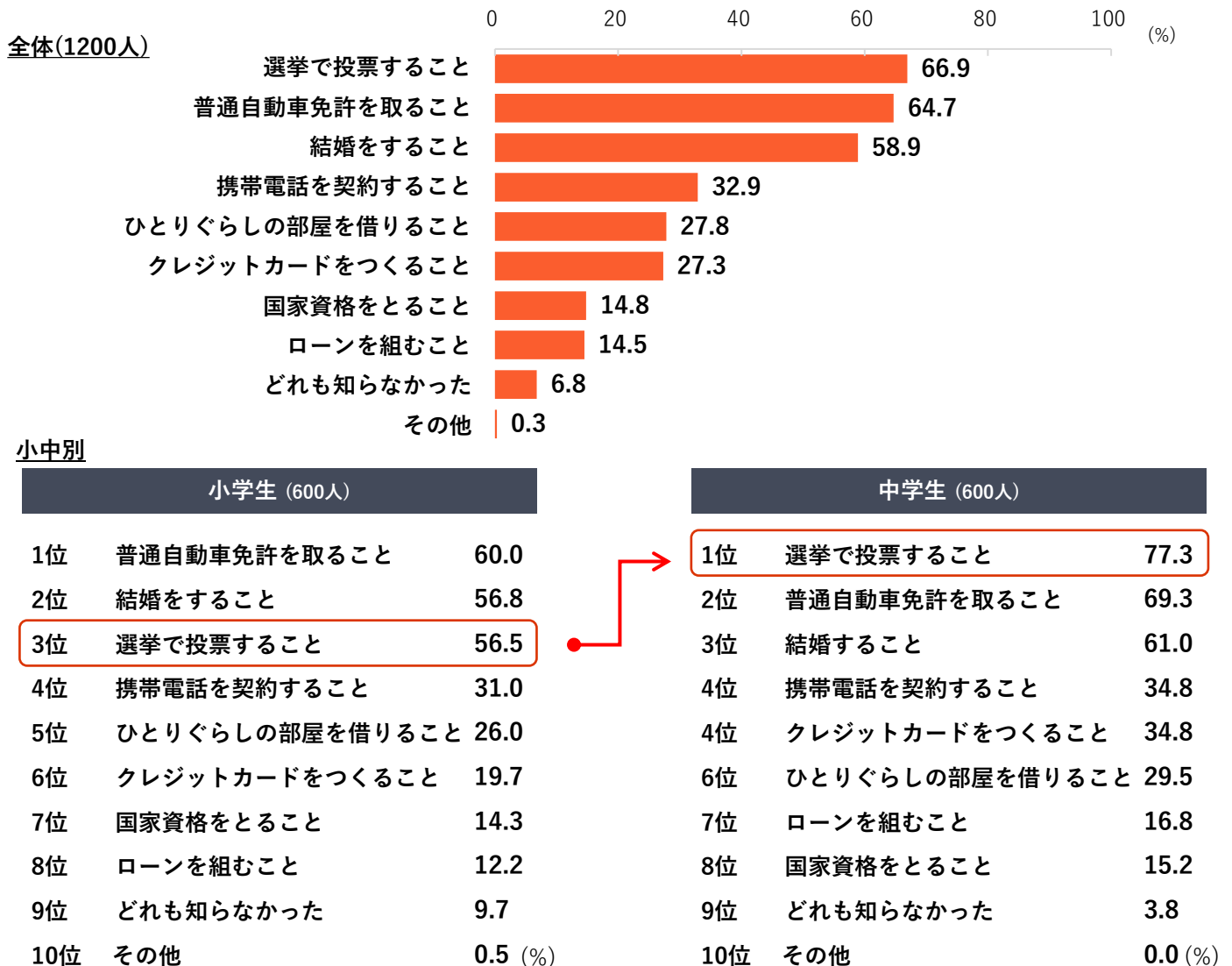
6. 成人年齢が18才と認知しているのは57.2%。「成人になったらできるようになること」で最も認知率が高かったのは「選挙で投票すること(66.9%)」。

- 成人年齢を18才だと回答したのは全体の57.2%。小中別でみると小学生は51.2%。中学生でも63.2%にとどまりました。
- 成人年齢を20才だと思っているのは、小学生・中学生ともに3割程度でした。
- 「成人になったらできるようになること」の認知については、「選挙で投票すること」が66.9%と最多でした。小中別にみると、小学生では56.5%でしたが、中学生では77.3%にのぼりました。
- 「自動車免許をとること(64.7%)」「結婚をすること(58.9%)」といずれも6割ほどの認知がありました。最も認知率が低かったのは「国家資格をとること(14.8%)」「ローン組むこと(14.5%)」でした。

Q.法律で決められている「成人」とは何才からだと思いますか。(自由回答)



Q.成人年齢になったらできるようになることについて、あなたが知っていたことをすべて教えてください。(いくつでも)



調査結果に関する研究員コメント

民法改正によって、2022年4月から成人年齢が18才へ引き下げられました。国の法律により成人年齢が定められる前には通過儀礼があり、日本で確認できる最も古い例は奈良時代までさかのぼる*そうです。とはいえ、いまを生きる子どもたちにとって「おとな」とは何なのか。通過儀礼といった儀式がゆるやかになったいま、「こども」から「おとな」になるその境目は、はっきりとは見えません。

そのような中で、子どもたちは身の回りの「おとな」の姿をよく見ているようです。昨今では、働き方も柔軟になり、テレワークを併用するなど、家の中で仕事をしている姿を子どもたちが見る機会も増えました。忙しい様子を感じながらも、尊敬する「おとな」は誰か、に対して家族という答えが多く挙がりました。

家族が忙しくてもサポートしてくれる点、仕事をしながら家事もこなし、勉強も見えてくれて遊んでくれる！といった日頃の感謝が自由回答に挙がりました。

子どもたちが、成長していく過程の中で出会う「おとな」が少しでも「こども」にとってなにかよい影響を与えられるような、そんな存在に私自身もなりたいたいという思いを抱きながら新年を迎えました。

*出典：国立国会図書館「本の万華鏡」(<https://www.ndl.go.jp/kaleido/>)

「おとな」に関する意識調査 概要

- ◆調査手法：インターネット調査
- ◆調査実施日：2025年10月26日(日)
- ◆調査エリア：全国
- ◆企画・分析：公益財団法人 博報堂教育財団 こども研究所
- ◆調査対象者：小学4年生～中学3年生
- ◆実施・集計：QO株式会社
- ※調査にあたっては事前に保護者の承諾を得て行っています。
- ◆調査パネル：株式会社マクロミル
- ◆サンプル数
・有効回答数 1,200人

学年	性別		計
	男子	女子	
小学4年生	100	100	200
小学5年生	100	100	200
小学6年生	100	100	200
中学1年生	100	100	200
中学2年生	100	100	200
中学3年生	100	100	200
合計	600	600	1,200

公益財団法人 博報堂教育財団／こども研究所について

【公益財団法人 博報堂教育財団】

博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査研究を行うことで、健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に財団法人博報児童教育振興会として誕生いたしました。その後、2011年に公益認定を受け、2020年に現在の名称に変更しました。

設立から50年以上を経た今日では、「子ども・ことば・教育」を活動領域ととらえ、設立以来の事業である、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」「海外の子どもたちとの日本語交流や日本語教育支援」「社会啓発事業」「調査研究事業」など、さまざまな活動を行なっています。

【こども研究所】

博報堂教育財団こども研究所は、弊財団の調査研究事業の一環で、2017年に設立されました。独自の調査や実験的な取り組みによって子どもの姿をありのままに捉え、子どもたちの可能性について新たな発見をし、それを社会と共有することで、子どもに対する見方やイメージの枠を広げていくことを目指しています。

こども研究所ホームページでは、調査研究の結果を広く公開しています。

<https://kodomoken.hakuhodofoundation.or.jp/>



本件に関するお問い合わせ

- 公益財団法人 博報堂教育財団 こども研究所 田口・亀田

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/contact/> (財団お問い合わせページ)